

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員や発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		学習と余暇活動のスペースを分け、室内はほぼ段差がなく移動しやすい環境となっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動に適した空間づくりに努め、清掃・整理を毎日実施しております。今後も配置を見直し、清潔で安心できる環境を維持してまいります。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	構造上、完全な個室は設けておりませんが、利用時間を分け、パーテーションや机で仕切るなど工夫しております。必要に応じて事務室や相談室も活用しております。	児童数に対して個別の部屋やスペースが十分とは言えませんが、空間を区切るなど工夫し、状況に応じた利用ができるようにしております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	7		毎日、全職員で打ち合わせをおこない、前日の振り返りや当日の療育内容・担当を確認しております。毎月のリフレクシオン会議では、反省点や改善点を話し合い、記録をファイルで保管し、振り返りができるようにしております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年に一度、アンケート調査を実施し、保護者様のご意向を確認しながら業務改善に活かしております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日の打ち合わせのほかにも、気になったことは職員間で話すなど日頃から情報共有を心がけております。定期的に業務の見直しもこなっております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりませんが、	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間計画に基づき、定期的に事業所内研修をおこない、職員の資質向上に努めております。外部研修にも参加できるよう調整し、さらなるスキルアップを目指しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となり、アセスメントをもとに児童・保護者様のニーズを把握し、児童の現状に合った支援計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者が作成した支援計画の原案をもとに会議で検討し、全職員で児童の現状や課題を共通理解しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画作成時には全職員で話し合い、更新後の計画を共有し、目標達成に向けた療育をおこなっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		社内共通様式のアセスメントシートを使用し、保護者様から細かく情報を聞き取り、記録し、計画作成に活かしております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		支援計画には、ガイドラインの内容を踏まえて、「本人支援」「家族支援」「移行支援」を必ず明記しております。児童・保護者様と共有した情報やニーズから、適切な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・作業療法士がそれぞれの立場から意見を出し合い、より良いプログラムを立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		個別学習支援のほか、季節ごとの製作や集団活動などをおこない、固定化しないように努めております。作業療法士が中心となり、機能訓練の観点からも支援をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の特性や課題、保護者様のニーズを総合し、個別支援では能力向上、集団活動では社会性の育成を目的に支援計画を作成しております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日全職員で打ち合わせをおこない、前日の報告や情報共有、療育内容、送迎担当、周知事項を確認しております。事前に予定を把握し、流れや役割に無理がないか調整しております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後、送迎や勤務時間の都合で職員が全員集まらない場合は、記録を残し、翌日の支援開始までに共有できるようにしております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援内容を記録し、支援前には過去の記録を確認して職員間で共有し、児童の実態を把握してから支援に臨んでおります。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		児童発達支援管理責任者が半年に1回以上モニタリングや家庭訪問時に、計画を見直しております。送迎時や家庭訪問時に保護者様と話し合い内容も療育につなげております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		児童の状況に応じて、放課後等デイサービスガイドラインに示される「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。楽しみながら成長につながる支援をおこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	7		療育では職員が活動を提供するだけでなく、児童が意見を発表したり、選択や判断をしたりという自己決定の機会を設けております。また、周囲に合わせて行動を調整する力も育めるよう働きかけをおこなっております。	児童の状況に応じて、ガイドラインの原則を組み合わせた支援を提供し、偏りのない活動を心がけています。楽しみながら成長につながる支援をおこなっております。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		担当者会議には児童発達支援管理責任者が必ず出席し、事前に職員から聞き取りをおこない、事業所代表として確実な情報提供に努めております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		相談支援員と連携し、医療機関や学校を含めた会議に参加することがあります。会議以外でも関係機関と連絡を取り、情報共有をおこなっております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎計画は、保護者様からの情報をもとに作成し、学校とは送迎時の対話や電話などで情報共有をおこなっております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		就学前に利用していた児童発達支援事業所と引継ぎをおこない、保護者様の意向を確認したうえで関係機関と情報共有をおこなっております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	現在、該当児童は在籍しておりませんが、提供を求められた際は保護者様の確認をとり、必要な情報提供ができるよう備えております。	対象児童の卒業時には、関係機関へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てていただけるよう努めます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		児童発達支援センターや他事業所との打ち合わせに出席し、情報共有や連携を図っております。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	コロナ禍以降、外部との交流は実施しておりません。近隣の事業所同士での交流行事には参加しております。また、児童館を見学させていただく機会もあり、児童館のスタッフの方とふれ合ったり、場所の意味をお聞きしたりする機会を持つことができました。	近くの施設などは今後も積極的に活用してまいります。保護者様のご意見を伺いながら、地域との交流を検討してまいります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		児童発達支援管理責任者が主に自立支援協議会に参加しております。他の職員も含め、今後も研修や講義などの場に積極的に参加し、情報共有や職員の能力向上につなげてまいります。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用時の様子は連絡帳アプリでお知らせし、送迎時にも保護者様に直接お伝えしております。必要に応じて家庭訪問や面談をおこない、事業所と家庭の情報共有に努めております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	送迎や家庭訪問時に保護者様のお悩みやご意見を伺い、迅速な対応を心がけております。具体的なプログラムの提案や研修情報の提供は十分にできておりません。	今後も保護者様とのよりよい信頼関係を築き、お話を傾聴し、日頃の支援に活かせるよう努めます。また、事業所からの積極的な働きかけや情報提供もおこなってまいります。
非常時等の対応	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に重要事項説明書や契約書を用いて詳細に説明し、契約内容の変更や保護者様のご要望があった場合は、再度詳しくご案内しております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		支援計画の作成・見直し時には、保護者様と面談し、現在の状況や困りごとを詳しくお聞きし、ニーズに合った支援計画となるよう努めております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援計画の更新時には、保護者様と直接お会いし、支援目標や内容について説明をおこなっております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	7		個々の相談があった際は、迅速な対応を心がけておりますが、即答が難しい場合は職員間で検討し、できるだけ早く適切にお答えできるよう努めております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	7		保護者様やきょうだい同士の集まる機会を持つことができっております。	保護者様の要望を考慮し、事業所やオンラインでの開催を検討してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情窓口を設け、迅速に対応できる体制を整えております。今後も保護者様のご意見に耳を傾け、丁寧な対応を心がけ、連携しやすい環境づくりに努めます。	
	42 定期的に通信等を送信することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の事業所だよりで日々の様子や行事の写真を発信し、季節ごとにCOMPASSだよりを配布しております。また、公式Webサイトのブログでも活動内容を掲載しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの筐庫にて厳重に保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童には特性や状況に合わせて、分かりやすい言葉や視覚的な方法で伝えております。保護者様にも専門用語を控え、分かりやすく説明するよう努めております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	地域住民の方との定期的な交流の機会はありませんが、今年度は近隣の児童館や図書館を利用したり、警察の方やダンス講師の方を招いて活動をしたという機会がありました。	イベントなどの開催については、児童・保護者様から好評のお声をいただきたいと考えています。今後も保護者様のご意見を伺いながら、地域との交流を検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者様にもご覧いただけるよう、事業所入口付近に各種マニュアルを掲示しております。定期的に事業所内で研修や訓練を実施しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を実施し、年間計画に基づき災害や不審者対応訓練を実施しております。訓練の内容や様子は、連絡帳や事業所だよりでお知らせしております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7		契約時や支援計画の見直し時には、アセスメントシートを活用し、服薬状況や体調を把握しております。てんかん発作などの対応が必要な児童については、職員間で情報共有をおこなっております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在、医師の指示書が必要な児童は在籍していませんが、食物アレルギーについては、保護者様からの情報を職員全員で共有しております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、事業所内点検や備品の確認、マニュアルの見直し、避難訓練や児童への指導などを定期的に実施しております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		マニュアルを提示し、訓練の様子をお知らせするほか、安全計画の内容を保護者様とも積極的に共有してまいります。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		報告書を作成し、職員間で振り返りをおこなっております。報告書はファイルで保管し、事業所内の勉強会などで活用しております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に職員研修をおこない、虐待防止の理解と意識向上に努めております。事業所内研修に加え、外部研修にも参加し、理解を深めてまいります。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		原則として身体拘束はおこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、組織的に判断し、保護者様へ事前に十分な説明をおこない、承認を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載し、適切に対応してまいります。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。